

取引条件の改善

● 未来志向型の取引慣行に向けて（世耕プラン）

① 業種横断的なルールの整備

- 下請代金支払遅延等防止法に関する運用基準の詳細化
→違反の例示として、“合理性の無い定期的な価格引下げ”、“金型保管コストの押しつけ”等の75例を追加。計141例に。

- 下請代金の支払手段に関する通達の見直し

→できる限り現金払いに。手形の場合、割引料は親負担、サイトは60日以内に（従来：120日以内
繊維業は90日以内）

② 業種別のルール作り

- 業種別下請ガイドラインの策定・改訂
- 産業界の自主行動計画（自動車、建機、電機、トラック運送業等、8業種21団体） 等

● 法の厳格な運用、実態の把握

- 新しいルールに基づき、立入検査・指導、公取委の勧告を実施。
- 下請Gメン（全国で80人）
- 自主行動計画の実施状況など、大企業・中小企業それぞれの実態を調査

● 下請かけこみ寺 ～取引上の悩みやトラブルに対応。相談無料、秘密厳守。全国48カ所。

電話0120-418-618、メールやWEBでの相談は

下請かけこみ寺

検索

※最低賃金引上げへの対応～「『稼ぐ力』応援チーム」

最低賃金引上げに伴って賃金を引き上げられるよう、各地で収益力アップのための指導などを実施。

取引条件の改善

未来志向型の取引慣行に向けて「世耕プラン」（平成28年9月15日発表）

3つの基本方針

- (1) 親事業者による不適正な行為に対して厳正に対処し、**公正な取引環境を実現**する。
- (2) **親事業者・下請事業者双方の「適正取引」や「付加価値向上」**につながる望ましい取引慣行等を普及・定着させる。
- (3) **サプライチェーン全体にわたる取引環境の改善や賃上げできる環境の整備**に向けた取組を図る。

3つの重点課題

本来は親事業者が負担すべき費用等を下請事業者に押しつけることがないように、徹底する。

価格決定方法の適正化

一律〇%減の原価低減を要請される、
労務費上昇分が考慮されない、等

コスト負担の適正化

量産終了後に長期間に渡って無償で
金型の保管を押しつけられる、等

支払条件の改善

手形等で支払いを受ける比率が高い、
割引コストを負担せざるを得ない、等

業種横断的なルールの明確化・厳格な運用（横軸）

事項	具体的な政策
下請代金法の運用強化 (運用基準改正)	違反事例を追加し、違反情報の収集強化と未然防止を図る。【不適正な原価低減活動、金型の保管コストの押しつけ、等の違反行為事例の追加を公正取引委員会に提案】【平成28年12月 改正済】
適正取引、付加価値向上の促進 (振興基準改正) *下請中小企業振興法	望ましい取引慣行を追記し、親事業者に要請する。(取引先の生産性向上への協力、労務費上昇分に対する考慮、サプライチェーン全体での取引適正化、等)【平成28年12月 改正済】
下請代金の支払条件の改善 (通達、振興基準の見直し)	下請代金の支払条件の改善を、親事業者に要請する。(現金払いの原則、割引料負担の一方的な押しつけの抑制、手形等の支払期間の短縮、等)【平成28年12月 新たな通達発出済】
下請代金法の調査・検査 の重点化	原価低減・金型・手形等に重点をおいて、下請代金法の書面調査の充実、特別立入検査を実施する。【平成28年度内に実施】

業種別の自主行動計画の策定等（縦軸）

- (1) 下請ガイドライン策定業種のうち、まずは幅広い下請構造をもつ自動車等の業種に対して、サプライチェーン全体での「取引適正化」と「付加価値向上」に向けた**自主的な行動計画の策定と着実な実行を要請**するとともに、**フォローアップ**を行う。【年度内に策定】
- (2) 業種別下請ガイドラインを改訂し、親事業者と下請事業者の連携・協力に係る**ベストプラクティス**を追加する。【年度内に改訂】

取引条件の改善（下請代金法の運用強化：運用基準の改正）

- 平成28年12月14日、公正取引委員会は「下請代金支払遅延等防止法に関する運用基準」（事務総長通達）を改正し、違反行為事例を大幅に追加した。

運用基準改正のポイント

○違反行為事例の追加

（現行66事例から141事例に大幅増加）

- 公正取引委員会による勧告・指導の中で、繰り返し見受けられた行為、事業者が問題ないと認識しやすい行為等を追加
- 中小企業庁等と共同で実施した大企業ヒアリングで得られた情報等を元に追加

主な違反行為の追加事例

【減額】

コンビニエンスストア本部である親事業者は、消費者に販売する食料品の製造を下請事業者に委託しているところ、店舗において値引きセールを実施することを理由に、下請代金から一定額を差し引いて支払った。

【買ったたき】

親事業者は、取引先と協議して定めた「○年後までに製品コスト○%減」という自己の目標を達成するために、部品の製造を委託している下請事業者に対して、半年毎に加工費の○%の原価低減を要求し、下請事業者と十分な協議をすることなく、一方的に通常の対価を大幅に下回る下請代金の額を定めた。

【不当な経済上の利益の提供要請】

親事業者は、量産終了から一定期間が経過した下請事業者が所有する金型、木型等の型について、機械部品の製造を委託している下請事業者から破棄の申請を受けたところ、「自社だけで判断することは困難」などの理由で長期にわたり明確な返答を行わず、保管・メンテナンスに要する費用を考慮せず、無償で金型、木型等の型を保管させた。

取引条件の改善 (新たな手形に関する通達)

○平成28年12月14日、中小企業庁と公正取引委員会において、手形支払に関する新たな通達を発出した（昭和41年以来、50年ぶり）。なお、「振興基準」の中でも同内容を記載している。

新たな手形に関する通達のポイント

- ① 下請代金の支払いは可能な限り現金で。
- ② 手形等による場合は、割引料を下請業者に負担させることがないよう、下請代金の額を十分に協議する。
- ③ 手形サイトは120日（繊維業においては90日）を超えてはならないことは当然として、将来的に60日以内とするよう努める。

ありがとうございます！



今後の下請代金は現金払いにします。



親事業者のうち大企業から率先して取り組んでいただきます！

※今後、政府が数年間かけて改善状況を調査します。

取引条件の改善(下請ガイドライン)

- 平成28年12月の関連する基準、通達の改正を踏まえて、下請ガイドラインを改訂。
- 新たに食品製造業・小売業（豆腐・油揚製造業）も策定し、合計**17業種**に。

1. 下請ガイドラインとは？

親事業者と下請事業者の間の望ましい取引関係の構築を図るため、業種の特性に応じて下請法等の具体的な解説を行うとともに、望ましい取引事例を示している。

2. 下請ガイドラインを改訂！

基準改正等を踏まえ、合理性を確保した原価低減活動、労務費上昇分の取引対価への反映、現金払いの原則（手形使用時はサイトを短縮）等の内容を反映。

<既存の下請ガイドライン策定業種：16業種>

素形材、自動車、産業機械・航空機等、繊維、情報通信機器、情報サービス・ソフトウェア、広告、建材・住宅設備産業、金属（旧：鉄鋼）、化学、紙・紙加工品、印刷、アニメーション制作【経済産業省】建設業、トラック運送業【国土交通省】、放送コンテンツ【総務省】

3. 新たな下請ガイドライン（食品関係で初！）

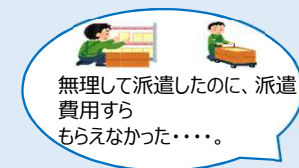
新たに「食品製造業・小売業の適正取引推進ガイドライン～豆腐・油揚製造業～」【農林水産省】を策定。問題となり得る事例と望ましい取引実例11項目を掲載。

<食品製造業ガイドラインの例>

派遣、役務の提供

<問題となり得る事例>

- 小売業者の要請で、特売期間中の店舗での商品陳列のため従業員を派遣したが、派遣費用の支払いがなかった。



<望ましい取引実例>

- 小売業者が要請を行う際、派遣費用の支払いはもとより、曜日の選択など要請を受けられるか十分協議の上で決定。

このほか、包材の費用負担、合理的な根拠のない価格決定、物の購入強制等について例示。

また、ガイドラインについて事例をわかりやすく解説した動画を公開。（→QRコード参照）



下請ガイドラインは、中小企業庁のホームページ（<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/torihiki/guideline.htm>）に掲載。

取引条件の改善(自主行動計画)

- 世耕大臣から業界団体に対して、サプライチェーン全体での「取引適正化」と「付加価値向上」に向けた**自主行動計画の策定と着実な実行を要請**した。
- 自動車業界をはじめとして、**8業種21団体**が計画を策定し、公表している。(平成29年3月末時点)

業種	団体名
自動車	日本自動車工業会 日本自動車部品工業会
素形材	素形材センター等 計9団体
建設機械	日本建設機械工業会
繊維 (2団体連名で策定)	日本繊維産業連盟 繊維産業流通構造改革推進協議会
電機・情報通信機器	電子情報技術産業協会 (JEITA) ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA) 情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ) 日本電機工業会 (JEMA)
情報サービス・ソフトウェア	情報サービス産業協会
トラック運送業	全日本トラック協会
建設業	日本建設業連合会

(自主行動計画の全文等は右記URLを参照) <http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/torihiki/koudoukeikaku.htm>

取引条件の改善 (今後のフォローアップ体制)

- 今後、発注側の大企業、下請側の中小企業の両方に対してきめ細やかな調査を実施し、サプライチェーン全体にわたる「適正取引」や「付加価値向上」の浸透・徹底を図る。

項目	今後の対応
(1)自主行動計画のフォローアップ	✓ 中小企業庁の定める『フォローアップ指針』を踏まえ、 <u>各団体がフォローアップ調査</u> を実施。調査結果を踏まえ、 <u>個社の取組の改善</u> や <u>自主行動計画の見直し</u> を実施。
(2)大規模な調査の実施	✓ 昨年12月の関係法令の運用強化を踏まえた改善状況について、 <u>親事業者数千社</u> 及び <u>下請事業者数万社</u> に対する大規模な調査を実施。（平成30年1月頃実施予定） ✓ <u>現金払い比率、手形サイト</u> 等について、対策前と比較して <u>改善状況を確認</u> 。また、 <u>労務費上昇分の考慮、型保管費用の負担</u> など、新規項目も <u>調査対象に追加</u> 。
(3)下請Gメンによる訪問調査	✓ <u>全国に80名規模の取引調査員（下請Gメン）を配置し、年間2,000件以上</u> の下請企業ヒアリング実施。 ✓ 下請Gメンによるヒアリングで <u>問題事案を把握した場合には、必要に応じ個社又は業界団体にフィードバック</u> し、自主行動計画の実行の徹底、改訂などを要請。

取引条件の改善（下請企業ヒアリングの実施概要）

- 本年4月から、下請Gメン（取引調査員）を80名規模で配置して、全国の下請企業を訪問し、下請企業ヒアリングを本格的に実施中。
- 本年8月末時点で1,527件のヒアリングを実施（1～3月の先行実施分302件を含む）。

1. 業種

業種	件数	割合
自動車	505件	33.1%
電気・機械	383件	25.1%
その他製造業	518件	33.9%
非製造業	121件	7.9%
合計	1,527件	100.0%

2. 取引の階層

ティア	件数	割合
一次下請	742件	48.6%
二次下請	575件	37.7%
三次下請	145件	9.5%
四次下請以下	47件	3.1%
その他	18件	1.2%

3. 資本金

資本金	件数	割合
1億円以上	50件	3.3%
5000万円～1億円	218件	14.3%
1000万円～5000万円	639件	41.8%
1000万円以下	620件	40.6%

取引条件の改善（下請企業ヒアリングの実施概要）

【改善事例】

- ヒアリング数全体の15%（※）（自主行動計画策定後の4月以降に限れば19%）で重点課題三項目の具体的な改善が確認された。
- 支払い条件の改善事例は顕著に多い。特に「100%現金化」といった事例が多い。
- 原価低減要請については、「例年あった要請がなくなった」等の改善事例が見られる。
- 金型関連は、事例数は少ないが、「保管状況を視察に来た」といった初期の動きが見られた。

【要改善事例】

- 重点課題三項目について、ヒアリング数全体の7%で問題が改善されていない状況が確認された。
- 原価低減要請、金型関連でそうした事例が多く、改善事例が浸透するには時間を要する。

（※）数値は「近時改善があった」事例であり、残り85%が不適切な取引状況であることを意味しない。

＜下請企業ヒアリング（1～6月分：全997件）において把握できた事例の件数＞

	近時改善した事例	要改善事例
原価低減	37件	35件
支払条件（現金化・手形サイト短縮）	89件	12件
型の管理適正化（型の廃棄・管理費用支払）	21件	15件
合計	147件	62件

【参考】「長時間労働につながる商慣行の是正に向けた共同宣言」について

- 経団連を始めとした経済団体111団体**（業種別60団体、地域別47団体）は、長時間労働につながる商慣行を是正し、働き方改革に係る企業の取組をより一層深化させるため、**「長時間労働につながる商慣行の是正に向けた共同宣言」**を公表（2017年9月22日）。

共同宣言全文

1. 関係法令・ルールの遵守に加え、取引先が労働基準関連法令に違反しないよう、配慮する。
2. 発注内容が曖昧な契約を結ばないよう、契約条件（発注業務・納期・価格等）の明示を徹底する。
3. 契約時の適正な納期の設定に加え、仕様変更・追加発注を行った場合の納期の見直しなどに適切に対応する。
4. 取引先の休日労働や深夜労働につながる納品など、不要不急の時間・曜日指定による発注は控える。
5. 取引先の営業時間外の打合せや電話は極力控える。
6. 短納期・追加発注・高品質など、サービスの価値に見合う適正な価格で契約・取引する。



業種別経済団体（60団体）



地域別経済団体（47団体）



計111団体（2017年10月4日現在）